

機械器具 26 医療用遠心ちんでん器
一般医療機器 汎用検査室用遠心機 36465000

医療用卓上遠心機 AS0506

【禁忌・禁止】

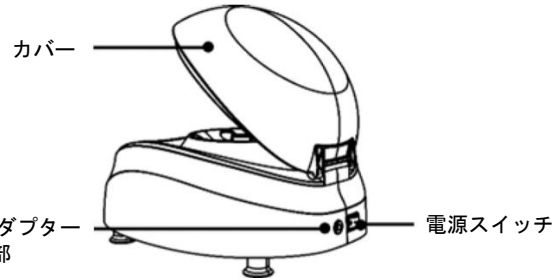
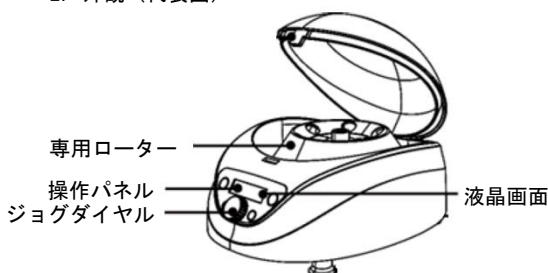
- 遠心機の取扱いの知識がある者以外は、本品を使用しないこと。[事故などの原因になる恐れがある]
- 病院内の高圧酸素室や酸素テント内など高濃度酸素下では使用しないこと。[引火・発火の可能性がある]
- 病院内の麻酔ガスなど可燃性ガスの近くで使用しないこと。[引火・発火の可能性がある]
- 危険物質（爆発性物質、可燃性物質、化学反応物質など）を遠心しないこと [本品は防爆仕様ではない。本品の破損により死亡事故や重傷事故の原因となる恐れがある]
- 感染性のある試料を遠心しないこと。[本品はバイオハザード対策仕様ではない。感染性のある試料を遠心した場合、人体に重大な影響を及ぼす原因となる恐れがある]
- カバーが完全に閉まっていることを確認してから本品を使用すること。[本品の破損や事故の原因となる恐れがある]
- ローターの回転中はカバーを開けないこと。[回転しているローターに触れると事故の原因になる恐れがある]
- ローターは最高回転数以下で使用する。[ローターが破損して本品の破損や事故の原因となる恐れがある]
- ローターの締め付けネジが緩んでいないかを確認すること。[締め付けネジが緩んだまま使用すると、ローターが外れて本品の破損や事故の原因になる恐れがある]
- 回転中に異常な振動や異音が発生したら直ちに使用を中止し、電源を切ること。[本品の破損や事故の原因になる恐れがある]
- ローターに傷、亀裂、腐食、さびなどがある場合は直ちに使用を中止し、電源を切ること。[本品の破損や事故の原因になる恐れがある]
- 本品を凹凸のある床面、強度の弱い床面や傾斜床面に設置しないこと。[異常振動の原因になったり、本品の破損や事故の原因となる恐れがある]
- ローターが回転している間は本品を移動させたり、振動を加えたりしないこと。[本品の破損や事故の原因になる恐れがある]
- 無人運転はしないこと。[事故の原因になる恐れがある]
- 本品を使用するときは、必ず安全眼鏡および溶液の有害性に対応する適切な保護具を着用すること。[溶液の飛び散りや容器破片の飛び散り、有害・可燃性ガスが発生した場合に危険なため]

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本体、AC アダプター、専用ローター、アダプター（1.5/2ml チューブ用、5ml チューブ用）、ボックスドライバー

2. 外観（代表図）



3. 原理

本品は、遠心力の発生によりローター内部に設置した試料中の成分を分離させる装置である。

4. 仕様

項目	仕様
定格電源	AC100～240V、50/60Hz
本体寸法	約（奥行）300×（幅）240×（高さ）165 mm
本体質量	約 5 kg
回転数 (rpm) 設定値	300～5,000 rpm
遠心力 (×g) 設定値	10～2,600 ×g
処理量	1.5/2/5/7/10/15ml チューブ×6 本（最大）
タイマー	30 秒～99 分、連続動作
安全機能	ドアインターロック、スピード超過検知、自動内部診断、ローター偏心検知

5. 使用環境

温度：2℃～40℃

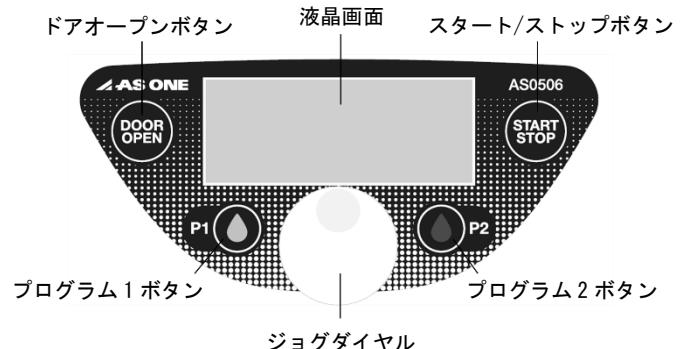
湿度：80%RH 以下（結露なきこと）

【使用目的又は効果】

遠心力を応用して懸濁液の成分を分離するために用いる汎用検査室用遠心機をいう。通常、電気駆動装置、その一部である垂直シャフト、垂直シャフト上部先端に取り付けられた水平ロータから構成される。本装置は体液等の試料を単独か、又は分析物の測定前に試薬や他の添加物を添加した後に遠心分離することを目的とする。

【使用方法等】

[操作パネルの名称及び機能]



取扱説明書を必ずご参照ください。

ボタン	機能
ドアオープンボタン	押すとカバーが開く。
スタート/ストップボタン	運転開始および運転停止時に押す。
プログラム 1 ボタン プログラム 2 ボタン	予め設定された運転プログラムの呼び出し時に押す。(運転プログラムの再設定も可能)
ジョグダイヤル	パラメーター設定時に使用する。

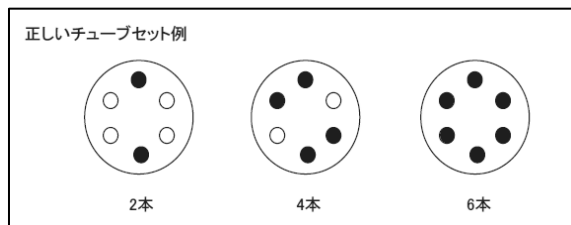
【使用方法】

- (1) 本体の AC アダプター接続部に付属の AC アダプターを接続する。その後、電源プラグをコンセントに接続する。
- (2) 電源スイッチを ON にするとカバーが自動的に開く。
- (3) 対称になるように、ローターにチューブをセットする。
- (4) ジョグダイヤル又はプログラムボタン（プログラム 1 ボタン、プログラム 2 ボタン）を操作し、回転数（rpm）、遠心力（×g）、タイマー（sec/min）を目的の数値にセットする。
- (5) カバーを閉じ、スタート/ストップボタンを押して運転を開始する。
- (6) タイマー時間のカウントダウンが終了すると、音が鳴り自動でカバーが開く。
- (7) チューブを取り出してカバーを閉じ、電源を OFF にする。

※使用方法等の詳細は、取扱説明書をよくお読みください。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- 1) 遠沈管等の試料を入れたチューブを準備し、しっかり蓋をしてローター内に差し込むこと。この時、チューブは下図のように必ず対称にセットすること。また、チューブ内の容量も均一になるよう調整すること。[チューブを対称・均一にセットしていないと、バランスが崩れ異常振動が発生して事故などの原因となる恐れがある]



- 2) 初めて使用する市販のチューブは、水などを入れて使用する回転数・遠心力で予備試験を行うこと。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意事項＞

- ・強力な電磁波を浴びる環境下で使用しないこと。[誤作動や故障などの原因となる恐れがある]
- ・ローターのチューブ装着穴やアダプター内に水滴や異物が無いか確認すること。[異常振動が発生して事故などの原因となる恐れがある]
- ・ローター内部に物やチューブの破片などを落とした場合は、必ず取り除いてから本品を使用すること。[本品の破損や事故の原因になる恐れがある]
- ・傷、変形などがあるチューブを使用しないこと。[チューブの破損により本品の故障の原因となる恐れ]
- ・本品の左右 10cm 以上、後方 30cm 以上を壁や他の物から離して設置すること。[本品の換気機能が阻害され、異常発熱などの原因になる恐れがある]
- ・ローターが回転している間は、不用意に本品の周囲に近づかないこと。

- ・分解・修理・改造は行わないこと。[故障の原因になる恐れがある]
- ・使用環境温度・湿度の範囲外で使用しないこと。[誤作動や故障などの原因となる恐れがある]
- ・本品に血液・薬品などが付着した際は直ちに清拭・消毒すること。[感染や故障の原因となる恐れがある]
- ・AC アダプターを濡れた手で抜き差ししないこと。[感電などの恐れがある]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

本品を保管するときは以下の事項に注意すること。

- ・本品を清潔に保ち、水のかからない場所に保管すること。
- ・高温多湿、直射日光、ほこりの多い場所では保管しないこと。
- ・傾斜、振動、衝撃などのある場所では保管しないこと。
- ・化学薬品や腐食性物質の保管場所、可燃性及び爆発性のガスが発生する場所の近傍では保管しないこと。

2. 保管環境条件

温度：-40℃～55℃

湿度：93%RH 未満（結露なきこと）

3. 耐用期間

5 年[自己認証（当社データ）による]

添付文書及び取扱説明書に記載された適切な保守点検を行った場合に限る。また、使用状況により差異が生じる場合がある。

【保守・点検に係る事項】

＜清拭・消毒の方法＞

- ・本製品の清拭・消毒を行う際は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行うこと。
- ・本体、カバー、専用ローターは、清潔な水又は中性洗剤を含ませた柔らかい布で清拭すること。
- ・本体、カバー、専用ローターを消毒する際は、70%アルコールを含ませた柔らかい布で清拭すること。
- ・清拭、消毒後は乾いたほこりのない清潔な柔らかい布で拭き取るか、自然乾燥させること。

（その他の注意事項）

- ・清拭の際には、本体内部に液体が入らないよう注意すること。また水などの液体には浸さないこと。
- ・本品を傷つけるおそれがあるため、上記以外の消毒液や有機溶剤、粗い布での清拭は避けること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：アズワン株式会社

TEL:0120-711-875

受付時間：平日 9：00～17：30（土日祝・弊社休業日は除く）

製造業者：DLAB Scientific Co., Ltd.

ディーラボ サイエнтиフィック社

製造国名：中国

取扱説明書を必ずご参照ください。